

出雲市総合振興計画「出雲新話2030」後期基本計画の策定方針について

「出雲市総合振興計画後期基本計画」（以下、「後期基本計画」）は、「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略」（以下、「次期総合戦略」）と、将来にわたり持続可能な出雲市を実現するという目標が共通することから、以下の要点を踏まえ策定します。

1 策定に係る要点

- (1)総合振興計画の6つの基本施策ごとに設定している「基本的方向」の内容は、前期基本計画と同様に、後期基本計画においても変更しません。
- (2)後期基本計画の「まちづくりの指標（K P I）」は、前期基本計画における取組の現状・課題や社会・経済の情勢を踏まえ、目標設定します。
なお、後期基本計画のK P I と次期総合戦略のK P I は整合を図ります。
- (3)K P I を設定するうえで必要な「具体的な施策」を検討します。
- (4)後期基本計画には国の総合戦略策定指針を勘案し、デジタルの力を活用したロードマップも盛り込みます。

総合振興計画で設定した6つのチャレンジ目標は、一つの事業のK P I が目標達成できれば達成できるものではなく、複数のアウトカム目標を達成して、達成できるものです。

2 策定体制

- (1)政策企画課が各課と調整し、施策等の取りまとめを行います。
デジタルを活用した施策については、情報政策課と連携して作成します。
- (2)「出雲市総合計画評価検討会議」は「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略推進会議」と同一の委員で構成し、意見聴取を行います。

※デジタルを活用したロードマップを加えた、後期基本計画のイメージ（１～４は各課から提出済）

4. まちづくりの指標（KPI）

(1) 活動指標（アウトプット）の設定

(2) 成果指標（アウトカム）の設定

指標	単位	事業計画年度					
		R6	R7	R8	R9	R10	R11
R6年度にスマート農業機械を導入した経営体が省力化できた割合（目標値に対して）	%		30	60	100	100	100
	（伸び）		30	30	40	0	0
R7年度にスマート農業機械を導入した経営体が省力化できた割合（目標値に対して）	%			30	60	100	100
	（伸び）		0	30	30	40	0
R8年度にスマート農業機械を導入した経営体が省力化できた割合（目標値に対して）	%				30	60	100
	（伸び）		0	0	30	30	40

※割合（％）に関する指標を設定する場合、算出式を記載してください。

各経営体（達成状況÷目標値）の合計÷経営体数

5. デジタルを活用したロードマップ

スケジュール	～R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
スマート農業	国の実証プロジェクト									
	効果の検証									
	農業者への普及・定着									
林業・水産業のスマート化			先進事例等の調査・研究							